

# Istanbul Weekly vol.7-no.32

## イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2018年10月19日（金）

### — 今週のポイント —

- 政治：** ブランソン牧師が釈放。  
ポンペオ米 국무長官のトルコ訪問。
- 経済：** 8月の経常収支、3年ぶりの黒字に。  
7月の失業率、10.8%。
- 治安：** 内務省：過去1週間で PKK 戦闘員 25名を無力化。  
イズミル県の交通事故で乗車していた違法移民 22名が死亡。
- 軍事：** トルコ軍がシリア・マンビジにおけるパトロール開始に向け米軍と合同訓練。
- 社会：** 交通違反の罰金が増額。  
イスタンブールのメトロ駅構内に初の空缶リサイクル機器が設置。  
トルコ人著名写真家アラ・ギュレル氏死去。

### 政治

#### 【外交】

##### ●ブランソン牧師が釈放

(1)12日、イズミル第2重犯罪裁判所は、FETOに関与した容疑で起訴された米国人のブランソン牧師に対して、スパイ行為を行なった罪で、懲役3年1か月15日の判決を下し、これまでの収監及び自宅軟禁日数を考慮して、即日釈放した。同牧師は、専用機でトルコを出国し、ドイツ経由で米国に帰国した。17日、ブランソン牧師の弁護士は同判決に対して控訴した。

(10月12日及び18日付け AA インターネット版)

(2)13日、トランプ米大統領は、ブランソン牧師の解放を歓迎する旨及びエルドアン大統領に感謝する旨のコメントをツイッターで発表。これに対して、エルドアン大統領は、ツイッターにおいて、トルコの司法は独立した判決を下したとし、米国とトルコが同盟国に適した形で協力を継続し、PKK、ISIL、FETOを始めとするテロ組織との闘いを継続していくことを望む旨発言。

(10月13日付け AA インターネット版)



(写真は、10月13日付け HT 紙インターネット版から)

##### ●チャヴシュオール外相の訪英

14日、チャヴシュオール外相はロンドンを訪問し、15日にハント英外相と会談した。トルコ外交筋によれば、両外相は、二国間関係、地域問題、トルコ・ロシアによるシリアのイドリブにおける非武装地帯の設置合意、テロとの闘い、英国のEU離脱に関して議論した。(10月16日付け AKSAM 紙インターネット版)

##### ●ダンチラ・ルーマニア首相のトルコ訪問

15日、ダンチラ・ルーマニア首相はトルコを訪問し、エルドアン大統領を表敬した。トルコ大統領府の声明によれば、ダンチラ首相とエルドアン大統領の会談は、2011年に戦略的パートナーシップのレベルに引き上げられた二国間関係を更に向上させる重要な機会となった。(10月15日付け M 紙インターネット版)



(写真は、大統領府ホームページから)

##### ●エルドアン大統領、モルドバを訪問

17日、エルドアン大統領はモルドバを訪問し、ドドン・モルドバ大統領と首脳会談を実施した。会談後の会見において、ドドン大統領は、両国民の身分証明書による(旅券を必要としない)相互渡航に関し合意した旨発言した。(10月18日付け HDN 紙3面)



(写真は、HT 紙インターネット版から)

## 【サウジ反体制派記者の失踪関連】

### ●サウジ反体制派の失踪事件の続報

(1)13日、サウジアラビアの反体制派記者ジャマール・ハジヨグジー氏の失踪に関し、トルコ当局は、同氏が総領事館内で拷問を受けた後殺害された際の録音記録を入手した。ハジヨグジー氏が身につけていた Apple Watch により、拷問・殺害される瞬間が録音されており、その録音データは、i-cloud を通じて記録されていた。(10月13日付け S 紙インターネット版)

(2)14日、サウジアラビアは、国営放送 SPA を通じて、ハジヨグジー氏失踪事件に関するいかなる経済制裁及び政治的圧力による脅迫も完全に拒否し、経済的・政治的脅威がサウジアラビアに及んだ場合には、報復措置を執ると警告した。(10月14日付け AA インターネット版)

また、同日、エルドアン大統領は、サルマン・サウジアラビア国王と電話で会談し、ハジヨグジー氏事件の真相究明が議題となった。(10月14日付け AA)

(3)15日夜、トルコ及びサウジアラビアの当局から構成される合同チームは、在イスタンブール・サウジアラビア総領事館内の捜索を開始。同日にはサルマン・サウジアラビア国王が失踪した記者に関する国内調査を命じていた。捜索チームは、翌日午前5時前に総領事館を後にし、鑑識車両は、土壌サンプルや金属のドアを同館の庭から押収。また、17日には、トルコ犯罪捜査官一行は、サウジアラビア総領事公邸の捜索も開始した。同捜査は約9時間にわたって行われた。(10月16日、17日及び18日付け HDN 紙1面ほか)

(4)16日、オタイビ在イスタンブール・サウジアラビア総領事は、アタテュルク国際空港から商業便でトルコを発ち、リヤドに向かった。トルコ外交筋は、トルコ外務省は同総領事を追放処分にしておらず、同総領事が自らトルコを去った旨明らかにした。(10月17日、18日付け HDN 紙4面ほか)

### ●ポンペオ米 국무長官のトルコ訪問

ポンペオ米 국무長官はサウジアラビア訪問に引き続き、17日、トルコを訪問し、モルドバ外遊を控えたエルドアン大統領と、アンカラ・エセンボア空港において会談した。また、同米 국무長官は、チャヴシュオール外相とも会談し、ハジヨグジー氏の失踪事件やマンビジュ情勢について意見交換を行った。(10月17日付け HT インターネット版)



(写真は、10月17日付け HT 紙インターネット版から)

## 【内政】

### ●地方選挙における CHP 立候補者の第一弾を来週発表へ

15日、CHP の中央執行委員会がクルチダルオール党首主催の下で開催され、地方選挙への準備を加速した。CHP は地方選挙への立候補募集の最終日を、公的機関勤務者を除き19日としており、来週の CHP 院内会合において、立候補者の第一弾を発表する予定。(10月16日付け TRT インターネット版)



(写真は、10月16日付け TRT インターネット版から)

### ●エルドアン大統領、中東工科大学生に対する訴えを取下げ

16日、エルドアン大統領は、エルドアン大統領を侮辱した容疑で逮捕された中東工科大学の学生4名と面会し、面会后に同学生らに対する訴えを取り下げる意向を示した。今年7月11日、裁判所は、中東工科大学の卒業式において、エルドアン大統領を侮辱するプラカードを掲示した学生への逮捕状を发出していた。(10月18日付け HDN 紙2面)

## 経済

### 【マクロ経済】

#### ●8月の経常収支、3年ぶりの黒字に

11日、トルコ中央銀行は、8月のトルコの経常収支は25.9億米ドルの黒字となったと発表。前年同月の9.23億米ドルの赤字から改善を見せた。8月の貿易収支赤字は12.8億米ドル、サービス収支黒字は46.3億米ドルであった。サービス収支中、旅行項目は同月37億米ドルの黒字となり、前年同月から4.61億米ドル増加した。(10月12日付け HDN 紙11面)

#### ●ブランソン牧師釈放を受けて、トルコリラが上昇

(1)13日、ブランソン牧師の釈放を受け、対1米ドル5.97であったトルコリラ相場は、対1米ドル5.87まで上昇した。(10月13日付け Haber Turk 紙インターネット版)

(2)17日、トルコリラ相場は対米ドルで8月以来の高値となる1米ドル5.66トルコリラを記録した。(10月17日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、10月17日付け HDN 紙インターネット版から)

#### ●7月の失業率、10.8%

15日、トルコ統計庁(TUIK)は、7月の失業率は、対前年同月比0.1%増の10.8%と発表。対前月比では0.6%増であった。15歳から24歳までの若年層における失業率は19.9%で、前年同月の21.1%からやや改善を見せた。雇用者数は対前年同月比50.7万人増の2,920万人。雇用者の産業別割合は、農業が19.7%、工業が19.5%、建設が6.9%、サービスが53.9%だった。(10月16日付け HDN 紙10面ほか)

#### ●1月から9月の財政赤字合計額、123億米ドルへ

15日、財務省は、1月から9月までのトルコの財政収支赤字が対前年同期比79.4%増の567億トルコリラ(123.5億米ドル)となったと発表。同期間の歳入は対前年同期比20%増の5,468億トルコリラだったが、歳出は同23.6%増の6,035億トルコリラとなった。新経済計画においては、2018年の財政赤字は721億トルコリラ又はトルコのGDPの1.9%と推定している。なお、9月の歳入は対前年同月比27.5%増の610.8億トルコリラ、歳出は同23.3%増の670億トルコリラだった。(10月16日付け HDN 紙10面)

#### 【金融】

##### ●民間部門の対外債務、減少

16日、中央銀行は、8月の時点で、トルコの民間部門が海外から借り入れている短期債務残高(貿易借款を除く。)が総額170億米ドルとなり、2017年末時点から16億米ドル減少したと発表。同債務の77.8%は金融機関によるもの。長期債務残高は総額2,194億米ドルで、同期間において24億米ドル減少した。長期債務残高における非金融機関の占める割合は50.5%。なお、今後1年間に返済が予定されている民間部門の債務残高は687億米ドルとされる。(10月17日付け HDN 紙10面)

##### ●カヤ・ワクフ銀行頭取、IMFの理事に選任

ラジ・カヤ・ワクフ銀行頭取がトルコで史上2回目となる国際通貨基金(IMF)の理事に選任された。任期は2018年から2020年まで。同理事は、理事会において欧州8か国(トルコ、オーストリア、チェコ、ハンガリー、スロベニア、ペラルーシ、スロヴァキア及びコソヴォ)を代表する。トルコはIMFに対する出資率を2016年1月に0.61%から0.98%に引き上げ、加盟国188か国中上位20か国入りしていた。(10月17日付け HDN 紙10面)

#### 【経済政策】

##### ●「投資計画要領」及び「外貨建て債務整理」に関する大統領令

11日付けの官報で、「2019年から2021年までの投資計画要領」及び「外貨建て債務整理」に関する大統領令が公表され

た。「2019年から2021年までの投資計画要領」においては、インフレ率の低減と物価の安定、財政規律の更なる強化を最優先事項とし、2019年には、やむを得ない場合を除き、新規投資を行わないこと、投資プロジェクトの優先順位として、進行中の案件の完了をできる限り優先すること等が定められている。また、「外貨建て債務整理」においては、債務整理の対象となった外貨建て債務は、債務整理が決定した日の為替レートに基づき、トルコリラ建て債務に転換される。(10月12日付け M紙5面ほか)

##### ●国籍及び長期滞在許可証取得簡素化のための事務所開設

13日、トルコ内務省は、外国人投資家のトルコ国籍又は長期滞在許可証取得手続きを簡素化するための事務所を、22日にアンカラ及びイスタンブールに開設する旨発表。トルコ国籍の取得のためには、50万米ドル相当の投資、25万ドル相当の不動産の購入又は最低50人以上の雇用創出の必要がある。(10月15日付け HDN 紙11面)

#### 【自動車産業】

##### ●トルコ国内の自動車販売台数、40%縮小し60万台の見通し

17日、トルコ自動車販売協会(ODD)は、2018年のトルコ国内の自動車販売台数は対前年比約40%減の60万台となる見通しであると発表。また、同協会は2019年の販売台数予測を45万台とした。なお、2018年の自動車輸出台数は2.5%の減少に留まるとした。(10月18日付け HDN 紙10面)



(写真は、10月17日付け HDN 紙インターネット版から)

#### 【閣僚発言】

##### ●アルバイラク財務相「国際市場のトルコ債への需要はトルコへの信頼を示す」

17日、アルバイラク財務相は、16日にドイツ銀行、ゴールドマンサックス、ソシエテ・ジェネラルに対し、2018年の外部借入計画(External borrowing program)の一環として、額面金額20億米ドルで2023年満期の米ドル建て債券発行を認可したことと言及、国際市場のトルコ債への需要は発行規模の3倍以上であると、これらの需要はトルコ経済の基礎の確かさ、外部からのショックに対する強靱性、政策の成功に対する承認であると述べた。(10月18日付け HDN 紙10面)

#### 【医療ツーリズム】

##### ●2018年は医療ツーリズムで15億米ドルの経済効果

バルカヤ・トルコ旅行業者協会(TURSAB)会長によれば、トルコは2018年に医療ツーリズムで15億米ドルを稼ぎ出す見込みである。2018年の上半期は、対前年同期比17%増の約6億米ドルを記録。トルコ統計庁(TUIK)発表のデータによれば、2013年から2017年までの期間にトルコは医療ツーリズムによ

り44億米ドルの収入を得ており、2017年の医療ツーリズム目的のトルコ訪問者は、対2013年62%増の43.3万人となった。今年、同じ目的でトルコを訪問した者は、上半期に27.4万人を超えたとされる。(10月15日付けHDN紙11面)



(写真は、10月15日付けHDN紙インターネット版から)

### 【エネルギー】

#### ●チャヴシュオール外相:「キプロス周辺の石油掘削は継続」

16日、チャヴシュオール外相は、キプロスのトルコ系住民の権益を守るため、キプロス島周辺での石油掘削を継続する旨を明らかにした。トルコは東地中海地域におけるギリシャ側キプロスの単独掘削を何度も牽制。トルコの目的は他国と争うことではなく、天然資源を平等に配分することであると述べつつ、当該地域におけるトルコ及び「北キプロス共和国」の権益の侵害は容認できないと述べた。(10月17日付けHDN紙10面)

## 治安

### 【ISIL 関係】

#### ●イラクの孤児院等が ISIL メンバーの親を持つトルコ人の子供約450名を収容

15日、ワタン紙は、イラク・バクダットの孤児院又は刑務所に、両親がISILメンバーとなったためイラクに連れて行かれたトルコ人の子供約450名が収容されていると報じた。(10月15日付けHDN紙インターネット版)

### 【PKK 関係】

#### ●内務省:過去1週間でPKK戦闘員25名を無力化

15日、内務省は、過去1週間で2,912回の対テロオペレーションを実施し、PKK戦闘員25名を無力化(殺害14名、拘束5名、投降6名)し、シェルター35施設を破壊、手榴弾22個、即席爆弾及び地雷20個、爆発物原料653キロ、銃器17丁、弾薬1,881発を押収したと発表した。また、この期間中、テロ組織支援の容疑で848名が拘束された。(10月16日付けHDN紙インターネット版)



(写真は、10月16日付けHDNインターネット版から)

### 【その他】

#### ●イズミル県の交通事故で乗車していた違法移民22名が死亡

14日、アイトウン県からイズミル県に向かっていたトラックが横転し、乗車していた移民22名が死亡、13名が負傷した。ギリシャ人運転手は軽傷を負い、病院に搬送された。事故を起こしたトラックは、別の車両のナンバープレートをつけ、常習的に違法移民を運んでいた。(10月15日付けHDNインターネット版から)

#### ●ソイル内相:2018年中、トルコ国内違法移民約20万5,000名を拘束

15日、ソイル内相は、2018年中、トルコ国内において、約20万5,000名の違法移民を拘束したと発表した。違法移民は、主にアフガニスタン、パキスタン、シリア、イラク国籍であり、アフガニスタン国籍の被拘束者は、昨年1年間の合計4万5,000名に対し、今年は既に8万名になっている。(10月16日付けHDNインターネット版)



(写真は、10月16日付けHDN紙インターネット版から)

## 軍事

#### ●トルコ軍がシリア・マンビジにおけるパトロール開始に向け米軍と合同訓練

14日、トルコ軍は、シリア・マンビジ北西におけるトルコ・米軍の合同パトロールに向け、ガジアンテップで訓練を開始したと発表した。訓練の目的は、それぞれの軍の資機材や銃火器システムを相互理解するためであり、訓練終了後にマンビジにおける合同パトロールが開始される見込み。(10月14日付けHDNインターネット版)



(写真は、10月14日付けHDN紙インターネット版から)

## 社会

### ●第54回プレジデンシャル・ツアー・オブ・ターキー終了

6日にコンヤからスタートした自転車レースは、14日、イスタンブールで終了した。本レースは1963年からトルコ自転車協会により実施されており、2年後の1965年には国際的レースとなった。2大陸をまたぐ世界で唯一の自転車レースは、セルチュク・ガージ・トンネル、オスマン・ガージ大橋、ユーラシアンネルを通過し、スルタンアフメットが終着点。今年度のレースにはトルコチームを含め世界各国から140名20チームが参加した。コースは6区間あり、各区間のタイムを総合して優勝者が決まる。今年度は、エドゥアルド・ブラデス選手(スペイン)が総合優勝を果たした。(10月14日H紙インターネット版)



(写真は、10月14日付けH紙インターネット版から)

### ●チャナッカレにて1,500年前の遺跡発掘

チャナッカレ県北西部のアレクサンドリア・トロアス古代都市遺跡にて、1,500年前の農業及び大工道具が発掘された。発掘されたのは鉄及び銅製の工具で、現場では2011年から発掘作業が行われている。発掘責任者であるオズテペ・アンカラ大学考古学部講師は、「この発掘は、ビザンツ時代初期のアレクサンドリア・トロアス近郊における経済や農業形態を示すものである。」と述べた。文化・観光省は、過去5年間でこの遺跡発掘に100万トルコリラを投資している。(10月14日付けHDN紙)

### ●旧石器時代の壁画が出現

アドゥヤマン県の南東部で、地元の漁師が旧石器時代の壁画を発見した。壁画は、同県カフタ地区のアタテュルクダムの減水後に現れた。壁画は、人と馬が鹿を追う様子を描いており、全長8メートル、幅70センチの大きさ。描かれた時代は旧石器時代よりも前にさかのぼる可能性もあり、今後詳細な調査が行われる。壁はダムが10~15メートル減水したことにより出現したが、水による損傷はほとんどない状態であるという。ダムが増水した場合は、再び水没することになる。(10月14日HDN紙インターネット版)



(写真は、10月14日付けHDN紙インターネット版から)

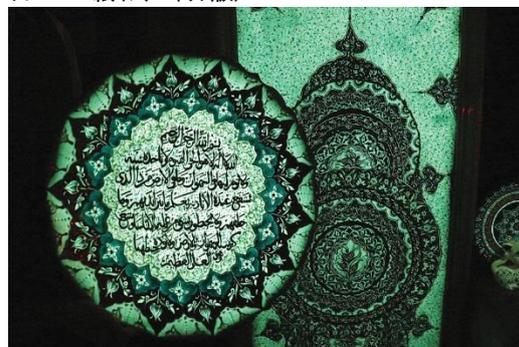
### ●交通違反の罰金が増額

交通違反の罰金額に見直しが行われた。2017年の調査ではトルコは交通量の多さで世界第7位であり、トルコ国内で最も交

通量の多いイスタンブールでは毎日1,500万台の車両が路上に出ている。交通違反防止のために適用されている罰金も、近年その効力を失っていることを考慮し、罰金額に見直しが行われた。新規定では、信号無視235トルコリラ(3回目には30日間運転停止、4回目以降は60日間運転停止)、運転中の携帯電話使用235トルコリラ、点滅光の使用1,002トルコリラ(2回目は免許取消)、安全車線での走行1,002トルコリラとなっている。(10月15日付けKAMU AJANS紙インターネット版)

### ●暗闇で光るキュタヒアタイル考案

トルコ人タイル職人ハーカン・クルコチ氏が、特別な手法により、暗闇で光るタイルを制作した。キュタヒア出身のクルコチ氏は、1993年以来タイル制作に従事している。クルコチ氏は4年間の試行錯誤の末、発光性塗料を使用したタイル彩色手法を考案し、「発光性床下式陶磁器製法」として特許を取得した。通常のタイルが900度~1200度で焼かれるのに対し、発光性タイルは高温ではその特性を失うため400度の低温で焼かれる。発光性タイルは、ドイツ、ドバイ、オランダ、ノルウェー、ブラジル、イタリアなど海外からも注文が相次いでいる。(10月16日HDN紙インターネット版)



(写真は、10月16日付けHDN紙インターネット版から)

### ●イスタンブールの90の通り名称変更

イスタンブール県議会は、市民からの苦情を受けて2016年のクーデター未遂の首謀者であるとみられているFETÖを連想させる単語を含む90の通りの名称を、殉死者、記者、スポーツ選手、芸術家の名前に変更することを決定した。例として、ベイオウル地区の「サマンヨル」通りは2007年に殺害されたアルメニア人ジャーナリスト「フロント・ディンク」に、シシリ地区の「ウシュック」通りは25年前に爆弾テロにて死亡した新聞記者の「ウール・ムムジュ」に、バクルキョイ地区の「ウシュク」通りは著名作家の「ヤシャル・ケマル」に変更された。バイラム・イスタンブール県会議員は、「フロント・ディンクやウール・ムムジュにちなんだ名称をつけることは社会平和への貢献ともなるであろう。」と述べた。(10月16日HDN紙2面)



(写真は、10月16日付けEn Son Haber紙インターネット版から)

**●イスタンブールのメトロ駅構内に初の空缶リサイクル機器が設置**

イスタンブール県は、リサイクル推奨のため、メトロ ITÜ-アヤズア駅構内に、空缶及びペットボトルを投入することでイスタンブール・カードへの課金が可能な自動機器を設置した。プラスチックボトルの場合、330ml のボトルを投入すれば 2 クルシュ、500ml であれば 3 クルシュ、1 リットルであれば 6 クルシュ、1.5 リットルであれば 9 クルシュが課金され、アルミニウムの缶の場合には、330ml の缶は 7 クルシュ、500ml であれば 9 クルシュが課金される。一回 2.6 トルコリラの地下鉄料金に相当する課金を得るには 1.5 リットルのプラスチックボトル又は 500ml の缶 28 本を投入する必要があることになる。機器は今後他駅にも展開される予定。(10 月 17 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、10 月 17 日付け HDN 紙インターネットから)

**●トルコ人著名写真家アラ・ギュレル氏死去**

17 日、著名なトルコ人写真家アラ・ギュレル氏が、シシリ・フローレンス・ナイチンゲール病院にて、鬱血性心不全、腎不全、末梢動脈疾患のため死去した。1961 年に英国が発行した写真年鑑では、世界で最も優秀な写真家 7 人のうちの 1 人として紹介され、同年米国の雑誌写真家協会のトルコから唯一の会員となった。以来、世界各国で写真展を開催し、チャーチル元英国首相、ピカソ、ダリなど著名人の写真撮影やルポルタージュを行うなど、様々な業績を残した。同氏は生涯を通じて「写真芸術家」として紹介されることを拒否し、フォトジャーナリストであると述べていた。1928 年イスタンブール、ベイオウル地区生まれ、享年 90 歳。(10 月 18 日 HDN 紙インターネット版)



(写真は、10 月 18 日付け HDN 紙インターネット版から)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSIAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Haberturk
D	Dünya	IA	İhlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail: [istanbulweekly@it.mofa.go.jp](mailto:istanbulweekly@it.mofa.go.jp)

WEB: [https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

Facebook: <http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu>

●トルコに90日以上滞られる方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

[istanbulweekly@it.mofa.go.jp](mailto:istanbulweekly@it.mofa.go.jp)

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2018.1.1～2018.10.18 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2017年		12件		2件		14件		0件
2018年	0件	8件	0件	2件	0件	13件	0件	4件

★当館 HP 更新のお知らせ★

● [江原総領事の離任ご挨拶\(10/17\)](#)

● [イズミルでの安全対策連絡協議会及び領事出張サービス:実施案内 \(PDF\) \(10/16\)](#)

● [当地のアルコール輸入業者等を対象とした日本酒テイasting会 \(PDF\) \(10/16\)](#)

● [江原総領事のクルクラーレリ県訪問 \(PDF\) \(10/12\)](#)